

2018年10月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

2018年11月30日
在ドミニカ共和国日本大使館

1 内政

(1) 世論調査

1日－5日付当地主要紙オイ紙は、Gallup社による世論調査を掲載。

ア メディーナ大統領の支持率は47.8%で、僅かに不支持(45.3%)を上回っているものの、政権初期と比べると、支持率は大幅に低下。

イ 56.8%がメディーナ大統領は公約を果たしていないと回答。メディーナ大統領の公教育の改善を評価しているが、治安及び汚職対策等は評価されていない。

ウ メディーナ大統領の連続再選に必要な憲法改正には、71.4%が反対。

エ 75.8%が経済成長の裨益者は富裕層であると回答。ラ米トップクラスの経済成長にもかかわらず、現下の経済状況に対しては75.5%が悪いと感じている。

(2) 2020年大統領選に向けた動き

ア 14日、与党PLD所属モンタス前商工大臣(オデブレヒト汚職事件の当初の被疑者だが最終的には不起訴)が大統領予備選に向けた立候補式典を実施。

イ 27日、与党PLD中央委員会が開催され(メディーナ大統領、フェルナンデス前大統領(PLD党首)、セデーニョ副大統領他100名余りのメンバーが出席)、僅か数分の話し合いをもって、これまでメディーナ大統領派が主張してきた一般選挙人名簿による予備選の実施が決定。

2 外交

(1) 対中国

ア 8日、Zhang Run中国大使はメヒア地域統合政策担当大臣を表敬訪問。

イ 12日、バルガス外相とWang Zhiqing中国民用航空局副局長が当国外務省にて会談し、二国間の航空サービス関係に係る合意にイニシャルサインを行った。

ウ 15日、当国外務省にて、当地中国大使館、当地メディア関係者、及びシンクタンクの間でドミニカ(共)と中国の二国間のビジネス・チャンスや協力についての対話が実施された。

エ 18日、メディーナ大統領が北部サンティアゴのフリーゾーンを訪問、Zhang Run中国大使とともに中国資本の履き物工場の開所式へ出席した他、同日、セデーニョ副大統領とZhang Run中国大使が会談を行い、薬物中毒対策センター建設等の協力可能性につき話合った。

オ 31日、メディーナ大統領はバルガス外相ら7名の閣僚及び経済界の代表者らとともに中国に向けて出発。北京にて習近平国家主席、李克強首相、栗戦書・全国人民代表大会

常務委員長らと会談を行う他、在中国ドミニカ（共）大使館の正式な開所式及び上海国際貿易見本市への出席が予定されている。

（２）対米国

ア ３日、バーンスタイン米国大使がメディーナ大統領を表敬訪問。

イ １５日、バーンスタイン米国大使がロドリゲス検事総長を訪問、二国間の関心事項につき話し合った。

ウ １５日、バーンスタイン米国大使が米国企業Xcoal Energy社とドミニカ電力公社（CDEEE）との間の署名式に出席。

エ １６日、バーンスタイン米国大使はセデーニョ副大統領を表敬、副大統領室が行う貧困対策につき話し合った。

（３）その他

ア ６日のハイチ北部地震の被害につき、８日、メディーナ大統領はモイーズ・ハイチ大統領に対し電話会談にて、弔意と連帯を表した。

イ １０日、バルガス外相がセナナヤケ・スリランカ外務副大臣と当国外務省にて、二国間関係及び国連安保理等につき会談を行った。

ウ １５日－２３日、バルガス外相がクウェート及びイギリスを訪問、クウェートにてサバーハ・クウェート首長他と、イギリスにてハント外務・英連邦大臣他と会談を行った。

エ １７日、ダビッド・コジャド首長はマドリードを訪問、同市市長と会談し、統一的協力に係る合意に署名。

3 経済

（１）１日、国際入札を経て、米国企業Xcoal Energy社がプンタカタリーナ石炭火力発電所の試運転に石炭を供給する会社として決定、試運転の期間中に４６万２０００トンの石炭が使用される見込み。

（２）１１日、IMFによる本年の当国の経済成長率予想が６．４％でラ米・カリブ地域の最高値となる旨報じられた。

（３）１６日、国家フリーゾーン審議会は、新たに２１のフリーゾーン企業の登録を認可。

（４）２１日、中銀は本年１月－９月の９ヶ月間の海外からの観光客訪問者数が５００万人を突破したと発表。

4 二国間関係

（１）９月３０日－１０月１１日、秋山仁東京理科大学特任副学長は２度目のドミニカ（共）訪問を行い、ナバロ教育大臣他数学関係者等との意見交換を行った他、主に教員等４００名を対象とした講演会等を各地で実施。また、昨年学術協定を締結したカトリックPUCMM大学（サンティアゴ市）では名誉教授の称号が授与された他、同協定に基づいた講演会等を実施。

(2) 5日付当地主要紙リステイン・ディアリオ紙及びエル・カリベ紙に秋山仁東京理科大学教授の数学協力のための今次ドミニカ（共）訪問に関するインタビュー記事が掲載。

(3) 5日付オイ紙は、当国観光省がツーリズムEXPOジャパン2018に参加した旨掲載。

(別添1) 経済指標

(了)